

平成28年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成28年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	たまやま振興 株式会社	所管課	玉山総合事務所産業振興課
所在地	〒 028 - 4134 盛岡市下田字生出893番地11		
電話番号	(019) 683 - 3215	設立年月日	平成9年9月5日
代表者	福田 稔	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域活性化を図るとともに市民の保健及び保養と交流の場を提供する。		
主要事業	① 宿泊事業 ② クアハウス事業 ③ 郷土食販売事業 ④ 産直売店事業 他		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス http:// yutoland.web.fc2.com/)
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(施設案内・宿泊プラン・食事内容 他)
ホームページ以外での情報提供の方法
盛岡市ホームページで出資法人としての行政評価を公表。同市情報公開室で決算関係書類閲覧可。

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	0	0		8	8	
	監査役	0			2	2	
	計	0	0	0	10	10	
職員	管理職	正職員	1		0	1	
		臨時職員	0	—	—		
	一般職	正職員	6			0	26
		臨時職員	20	—	—		
	計	正職員	7	0	0	0	27
		臨時職員	20	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 1	減 0	常勤職員の平均年齢	54	歳	
常勤職員の給与体系							
<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他()							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	47,500 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	86.3 %)	
② 新岩手農業協同組合			(出資等割合	9.1 %)	
③ 岩手中央酪農業協同組合			(出資等割合	3.6 %)	
④ 盛岡商工会議所			(出資等割合	0.9 %)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成28年度における当市の財的関与の状況	補助金	0 千円		(収入全体の	%)
	負担金・交付金	0 千円		(収入全体の	%)
	委託料	0 千円		(収入全体の	%)
	指定管理料	0 千円		(収入全体の	%)
	貸付金	0 千円		(収入全体の	%)
補助金内訳					
①			(平成28年度予算額		千円)
②			(平成28年度予算額		千円)
③			(平成28年度予算額		千円)
負担金・交付金内訳					
①			(平成28年度予算額		千円)
②			(平成28年度予算額		千円)
委託料内訳					
①			(平成28年度予算額		千円)
②			(平成28年度予算額		千円)
指定管理料内訳					
①			(平成28年度予算額		千円)
②			(平成28年度予算額		千円)
③			(平成28年度予算額		千円)
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合交流ターミナル施設(ユートランド姫神)			
		利用料金収入(平成28年度予算額	121,000	千円	
		法人の収入全体の	99.96	%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合交流ターミナル施設(ユートランド姫神)
-------	--------------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度
① 売上目標	年	計画	119,800	111,200	114,250
		実績	111,947	109,620	113,405
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
収支の状況	売上高(A)	111,966	109,642	113,405
	売上総利益	85,784	87,489	91,874
	販売費・一般管理費(B)	99,842	105,661	103,796
	営業利益	▲ 14,058	▲ 18,171	▲ 11,921
	経常利益(C)	▲ 5,088	▲ 17,386	▲ 11,766
	税引前当期純利益	▲ 5,302	▲ 17,386	▲ 11,766
	当期純利益	▲ 5,487	▲ 17,571	▲ 11,951
財産の状況	資産(D)	51,381	33,470	22,131
	うち流動資産(E)	49,629	32,083	21,032
	うち固定資産	1,752	1,387	1,099
	負債	12,787	12,448	13,059
	うち流動負債(F)	12,787	12,448	13,059
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債			
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
純資産	38,595	21,023	9,072	
うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000	
うち剰余金(L)	▲ 16,405	▲ 33,977	▲ 45,928	

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
組織の状況	常勤役員数(M)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	28	26	26
	うち常勤職員数(カソコ内正職員)	28(5)	26(6)	26(6)
	うち本市OB	0	0	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(M/総役員数)			
	管理職員比率	3.6	3.8	3.8
	職員新規採用数	0	0	0
うち常勤職員数	0	0	0	
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	-4.5	▲ 15.8	▲ 10.3
	販売費・一般管理費比率(B/A)	89.1	96.3	91.5
	流動比率(E/F)	388.1	257.7	161.0
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	75.1	62.8	40.9
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	3,998	4,217	4,361
本市の財政的関与等の状況	補助金額	0	0	0
	①			
	②			
	③			
	負担金・交付金額	0	0	0
	①			
	②			
	委託金額	0	0	0
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	7,964	0	384
	① 燃料費変動に伴う指定管理料	5,411	0	-1,479
	② 水道料金値上に伴う指定管理料	1,620	0	1,863
	③ 電気料金値上に伴う指定管理料	933	0	0
貸付金額	0	0	0	
損失補償額	0	0	0	
債務保証額	0	0	0	

平成27年度決算の概要

売上高は、特に宿泊部門で長期宿泊などビジネス客の利用が増加となり売上増となる等、全部門で前年度を上回り3,762千円の増額となった。一方、経費面では職員不足による正職員の時間外・休日出勤などで人件費が増加となり、太陽光発電装置導入により電気料は減少したものの、水道料は27年度から盛岡市一般向け従量表が適用となり2,300千円の増額、サウナ室等の修繕費の負担もあり、損失計上の決算となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

D	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
<p>(コメント) 赤字決算が常態化しているが、27年度の売上については改善が見られ、施設の有効活用と営業等の工夫により収入面での改善可能な状況と判断される。しかし、支出の面では経費削減も限度があり、修繕費の負担も重いことから、長期の安定した経営に向け、市による計画的な施設設備修繕とリニューアルの実施、職員配置の適正化指導、施設の特異性を考慮し指定管理料の導入が必要と考える。</p>	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成26年度決算において黒字である。		○
2	平成27年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	平成27年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		○
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		○
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		○
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	○	